

# みんなで作る博物館2 ～めざせ!昆虫博士～



平成27年度『環境学習みえ』では、『みんなで作る博物館』をシリーズで特集します。三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、総合力を発揮して探究し、保全・継承するMieMu(みえむ):三重県総合博物館。学びと交流を通じての人づくりや、愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献するMieMuのさまざまな活動を取り上げます。

## 「みんなで作ろう!ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑」

MieMu(みえむ)は、三重県総合博物館では、平成26年の開館から『みんなで作ろう!ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑』が始まりました。MieMuの屋外にあるミュージアムフィールドの昆虫調査を行い、博物館を訪れた人たちにミュージアムフィールドで見られる昆虫について紹介しようという事業です。

この調査はMieMuの昆虫担当学芸員の  
大島さんを中心に、三重県総合博物館ミュージアム・パートナーに入会した、昆虫に興味があるみなさんによって行われています。当事業は一般財団法人全国科学博物館振興財団の全国科学博物館活動等助成事業による助成を受け、平成27年度も調査が続けられています。

MieMu3階の『三重の実物図鑑』には、参加者によって作製された昆虫標本が展示してあり(写真上)、1年間の調査結果を見

ることが出来ます。

そこで『みんなで作る博物館』シリーズの平成27年度 夏号では、学芸員の大島さんに『みんなで作ろう!ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑』に関わる子どもたちの活動についてお話をお聞きしました。

### 昆虫調査の方法

調査は、ミュージアムフィールドに設定したルートを毎回決められた時間に歩きながら、昆虫を採集または確認し記録する方法(ルートセンサス)で行います。ひとりよりもグループで調査することで、ミュージアムフィールドの多様な昆虫相のデータを集めることができます。

夏のミュージアムフィールドの林は緑の葉をいっぱい茂らせ、いよいよ昆虫シーズンの到来です。この時期を待ちに待っていた参加者の子どもたちとともに、昆虫調査のようすをご紹介します。

#### 【お話を伺った人】



**MieMu**  
みえむ  
三重県総合博物館  
MieMu Mie Prefectural Museum, Japan

おおしま やすひろ  
昆虫担当学芸員 **大島 康宏**さん

専門：昆虫分類学

特にチョウ目タテハチョウ科昆虫の  
分類・系統・生物地理。